

感染症発生状況

令和7年7月17日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和7年7月7日（月）～7月11日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 264名 【職員】 3名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 52名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状別：熱（101名）、下痢・腹痛（73名）、咳・鼻水（45名）、嘔気・嘔吐（12名）

疾病別：手足口病（10名）、溶連菌感染症（8名）、胃腸炎（7名）、
咽頭結膜熱（プール熱）（2名）

【職員】 症状別：なし

疾病別：胃腸炎（3名）

今週は夏風邪は落ち着いているようです

【疾病別の発生状況】

手足口病	都南地区で増加しました。河北地区で減少しました。
溶連菌感染症	厨川地区、河北地区で増加しました。
胃腸炎	河北地区で増加しました。都南地区、河南地区、盛南地区で減少しました。
咽頭結膜熱（プール熱）	玉山地区、厨川地区、盛南地区で減少しました。

【県の状況（6/30～7/6）】

梅毒の報告が1例ありました。

百日咳は67例報告されました。盛岡市で25例、県央地区で12例と多くなっています。年齢別では10代が35例と最も多く、前週に続き乳児の報告もあります。1歳未満の場合は重症化や死亡のリスクがあるため、接種対象年齢に達した小児に対し、ワクチンを接種することが望まれます。手洗いや咳エチケット等の基本的な感染予防対策も行いましょう。

伝染性紅斑（リンゴ病）の定点当たり患者数は2.37人となり、警報値（2.0人）を超えています。県央、奥州地区等の内陸部で特に報告が多くなっています。伝染性紅斑は小児を中心にみられる感染症ですが、妊婦が感染すると胎児の異常や流産の危険性が生じる場合があります。微熱や咳等かぜ様症状がみられた後、両頬に境界明瞭な紅斑、四肢伸側にはレース状の紅斑が現れます。飛沫感染や接触感染しますが、紅斑出現時には感染力はほとんどありません。こまめな手洗いや咳エチケット等の基本的な感染予防対策が重要です。

感染性胃腸炎は減少し、定点当たり患者数は6.04人となりました。体調管理に気を付け、調理や食事の前、トイレの後は石けんで手洗いをしましょう。患者の吐物や便は、使い捨て手袋とマスクを着用し、塩素系消毒剤で処理してください。換気も忘れずに行いましょう。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】